



実り多い充実した3日間

9月初めから降り続いた秋の長雨もようやく一段落し、暖かな日差しが戻ってきました。改めて日差しのありがたさを感じています。しかし、朝晩はすっかり涼しくなり、秋の訪れを感じる頃になりました。「〇〇な秋」という言葉がありますが、〇〇に入る色々な言葉で秋を楽しみたいですね。

さて、9月30日から2泊3日で6年生が修学旅行に行ってきました。6年生になってから時間をかけ、しっかりとした事前学習や、活動を成功させるための充実した話し合い等を行ってきました。小学校生活で最大の行事といってもいい修学旅行を思い出深いものにするため、全員が準備をしました。

修学旅行当日は6年生75名全員が参加し、やや天候に不安を抱えての出発となりました。鎌倉での班別行動。現地ガイドさんに案内され、神社、お寺を巡り日本の歴史、伝統を肌で感じ、先人の思いを感じることができました。また、二日目は、橿形出身の内藤多仲博士が設計した日本屈指のタワーにも登ってきました。丁度バスを駐車したところから上を見上げ、4本の脚部から曲線を描き空にまっすぐに伸びる美しさに、改めて魅了されました。子供たちも展望デッキからの町の風景や、遠くに連なる山々に歓喜の声を上げていました。多くの見学地を巡り、それぞれの場所で子供たちは多くの学びを得ることができました。それは、学習だけではなく、社会の一員としてのマナーであったり、集団で行動する大切さであったりしました。修学旅行は、子供たちの成長に欠かすことのできない取組であることを改めて感じるすることができました。また、6年生は良く食べるんです。私は、人間形成の基本は食だと思っています。身体も心も大きく成長するためには、豊富な栄養が必要です。6年生の食べっぷりを見て、今後の活躍とさらなる成長を期待せざるを得ません。また、何かしてあげると必ず「ありがとう」と返してくれました。以前にもおたよりでお伝えしましたが、何気ない一言が人を幸せにしたり、自分自身の成長につながったりします。特に挨拶は、人に与える影響が大きいです。最上級生としての挨拶は、きっと小笠原小学校の大きな成長の伝統となると思います。その他にもここではお伝えしきれない大きな成長と、素敵な笑顔がありました。6年生にとってこの取組が良い思い出となり、今後の学校生活、人間形成の一助となることを期待しています。また、御家庭の皆さんや地域の皆さんに支えられ、子供たちがしっかりと成長していることに感謝申し上げます。2学期は行事も多く、学校に来校していただく機会も多くあります。是非、小笠原小学校の素晴らしさを感じてください。

【お願い】

最近、インフルエンザの流行が報道されています。近隣の市町村においても、学級閉鎖、学校閉鎖の対応をした学校もあります。日中と朝夕の寒暖差が激しく、衣服の調整が難しく体調を崩しやすくなっています。しっかりと食生活と十分な睡眠をお願いします。

